

魔三郎石

昔むかし、蒙古の魔三郎という人が、この地にやっけて土を練り上げてこの石を作ったと伝えられています。

大きさは、高さが地上約一メートル、幅が約六〇センチメートルのもので、今もこの寺の本堂前に残っています。

不思議なことに、この石は、土中深く埋まっていて、いくら掘っても掘っても掘りきることができない珍しい石といわれています。